

資料 4－③

平成 27 年度第 1 回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

事業評価監視委員会審議資料

【再評価事業】

○一般国道 329 号 与那原バイパス

○一般国道 329 号 南風原バイパス

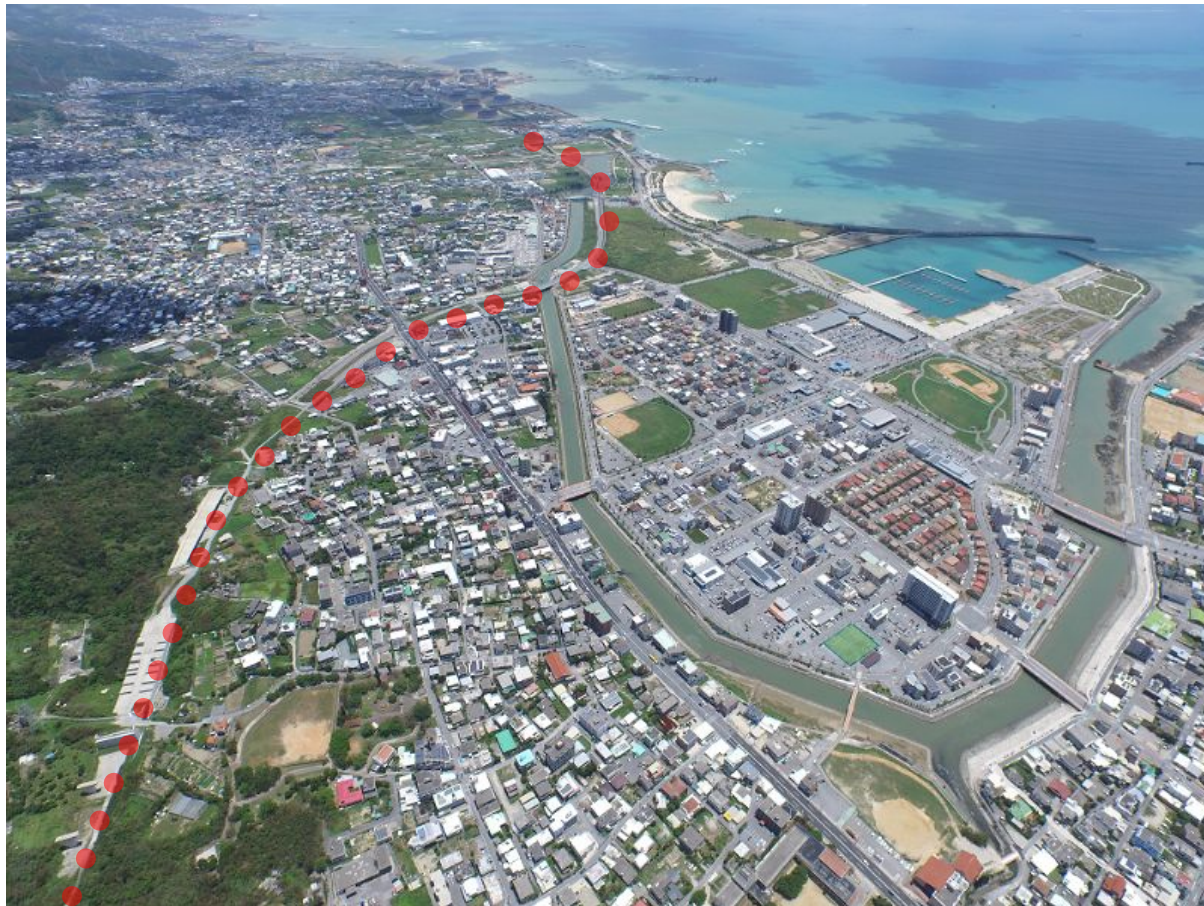
沖縄総合事務局開発建設部

事業評価監視委員会審議資料

道路事業(再評価) 一般国道329号 与那原バイパス・ 南風原バイパス

平成27年12月9日

沖縄総合事務局
南部国道事務所



与那原バイパス・南風原バイパスの事業概要

(1) 事業目的

一般国道329号は、沖縄本島の太平洋側と東シナ海側を結ぶ大動脈であり、本島の南東部と那覇市を結ぶ主要幹線道路である。与那原バイパス・南風原バイパスは『ハシゴ道路計画』、『2環状7放射道路』に位置付けられており、それら計画に位置付けられた周辺路線と一体となって広域ネットワークを形成することにより、中城湾港マリンタウンプロジェクト等関連事業の支援と地域の活性化に寄与する道路事業である。

- ① 通過交通と域内交通の分散化
- ② 国道329号の交通安全確保及び沿道環境の改善
- ③ 中城湾港マリンタウンプロジェクト等関連事業の支援

全体位置図



(2) 計画概要(与那原バイパス)

<計画概要>

- 事業名：一般国道329号 与那原バイパス
- 起終点：(起点) 沖縄県中頭郡西原町字小那覇
(終点) 沖縄県島尻郡南風原町字与那覇
- 延長：4.2km
- 道路規格：第4種第1級
- 設計速度：60km/h
- 車線数：4車線

<主な事業の経緯>

平成4年度	事業化
平成12年度	都市計画決定
平成14年度	用地着手
平成16年度	工事着手
平成17年度	部分供用
平成22年度	部分供用
平成25年度	部分供用
平成26年度	部分供用

<費用>

- 全体事業費：470億円(H24再評価時470億円)
- 残事業費：196億円(H24再評価時245億円)

<費用便益比>

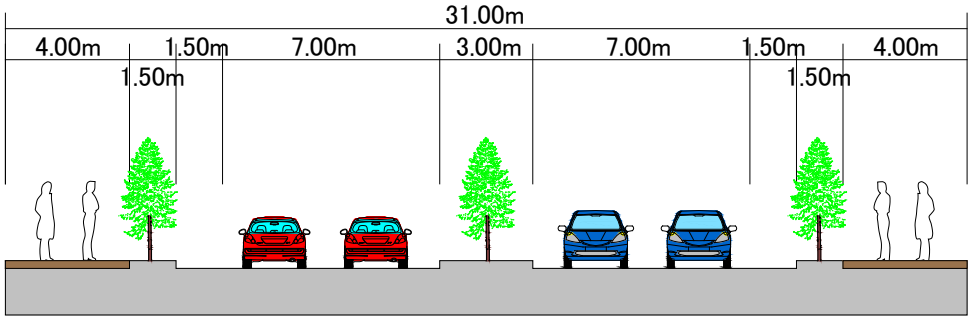
- 事業全体：2.9(H24再評価時)
- 残事業：6.4(H24再評価時)

<事業進捗の見込み>

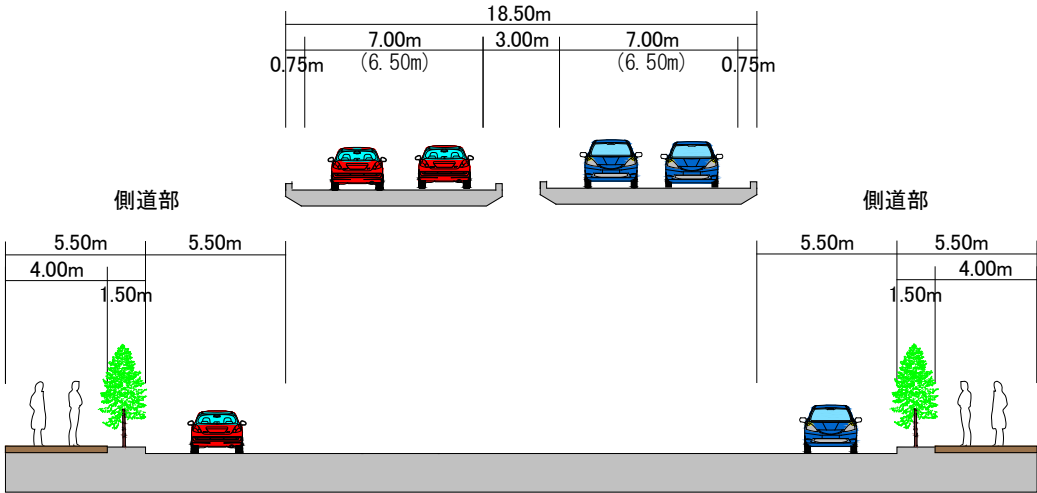
	H24再評価時 (H24年度末時点)	今回評価時 (H26年度末時点)
用地買収の進捗率	90%	96%
事業費の進捗率	48%	54%

与那原バイパスの標準断面図

一般部



高架部



(2)計画概要(南風原バイパス)

<計画概要>

- 事業名：一般国道329号 南風原バイパス
 - 起終点：起点) 沖縄県島尻郡南風原町字与那覇
(終点) 沖縄県那覇市上間
 - 延長：2.8km
 - 道路規格：第4種第1級
 - 設計速度：60km/h
 - 車線数：4車線
- ### <主な事業の経緯>

平成7年度	事業化
平成12年度	都市計画決定
平成14年度	用地着手
平成15年度	工事着手
平成16年度	部分供用
平成17年度	部分供用
平成22年度	部分供用
平成27年度	部分供用

<費用>

- 全体事業費：450億円(H24再評価時450億円)
- 残事業費：278億円(H24再評価時327億円)

<費用便益比>

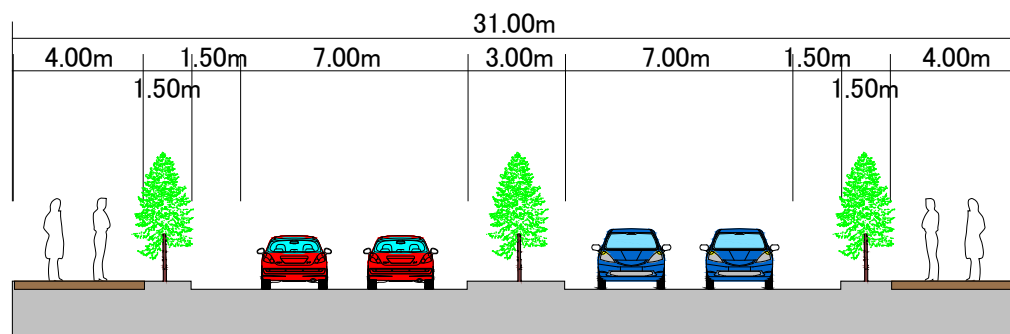
- 事業全体：1.3(H24再評価時)
- 残事業：1.9(H24再評価時)

<事業進捗の見込み>

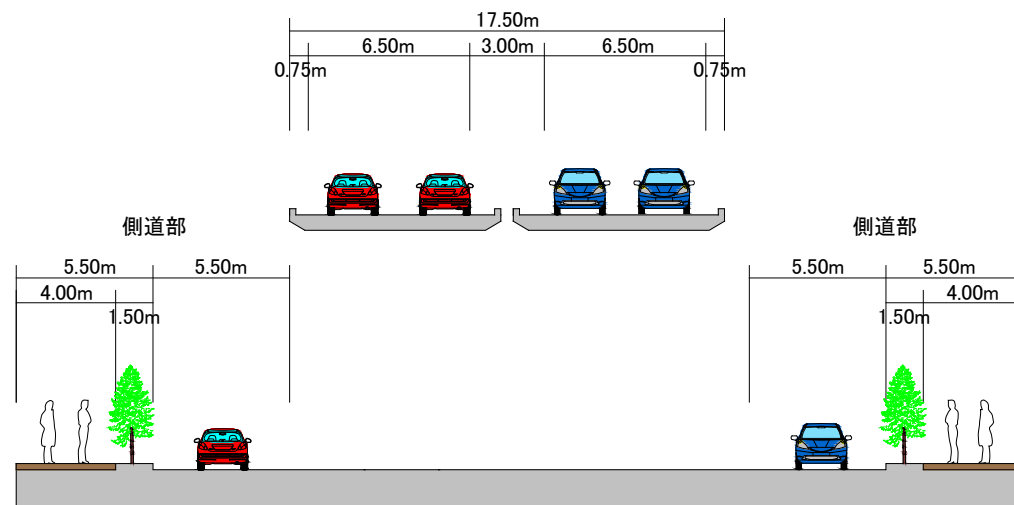
	H24再評価時 (H24年度末時点)	今回評価時 (H26年度末時点)
用地買収の進捗率	89%	96%
事業費の進捗率	27%	34%

南風原バイパスの標準断面図

一般部



高架部



(3)事業の進捗状況等

1)事業の進捗状況

平成27年度事業内容

・事業中区間の用地買収及び工事を推進します。

進捗の状況

・平成26年度末までの用地進捗率は与那原バイパス、南風原バイパスともに96%、事業進捗率は、与那原バイパスが54%、南風原バイパスが34%です。

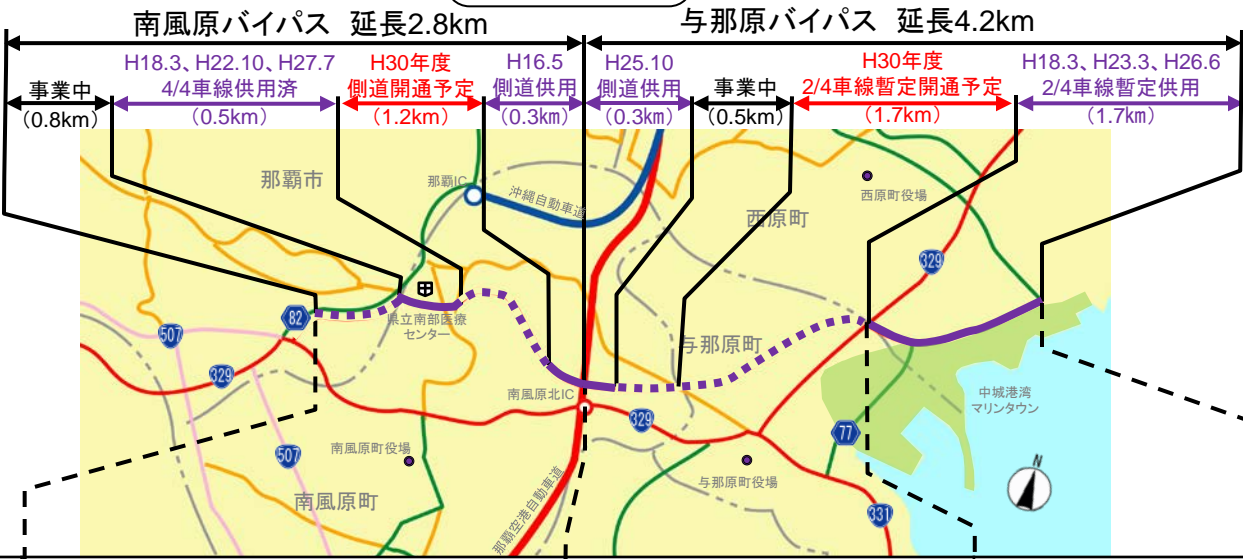
事業進捗上の課題

・一部用地取得が困難な箇所があり、与那原バイパスについては、土地収用法による手続きを進めている。
(事業認定告知済み。裁決申請については、年明けに予定。)

2)今後の事業スケジュール等

・早期の整備効果を発現させるため、当面の目標として全線暫定2車線供用に向けて、用地買収、工事を推進し、引き続き、完成4車線化に向けて事業の進捗を図っていきます。

全体位置図



<道路凡例>

- バイパス(供用済)
- バイパス(事業中)
- 沖縄自動車道
- 直轄国道
- 補助国道
- 主要地方道
- 一般県道

<凡例>

- 町役場
- 第3次救急医療施設
- 中城港湾マリンタウン

区 間	南風原バイパス(2.8km)	与那原地区(2.5km)	西原地区(1.7km)
用 地	用地進捗率96%	用地進捗率96%	
工 事	事業中(一部区間供用済)	事業中(一部区間側道供用済)	暫定2車線供用

(4)まとめ

1. 事業の必要性

- 国道329号は、交通量が3万台/日以上、混雑度は1.38まで増加している。⇒交通渋滞の緩和
- ピーク時旅行速度は18.5km/hと、慢性的な交通渋滞が発生している。⇒交通渋滞の緩和
- 中城湾港マリントウンプロジェクトが平成5年に策定され、事業推進中。⇒地域の活性化支援

2. 事業の整備効果・投資効果

- 円滑なモビリティの確保
 - ⇒並行区間(国道329号)の交通量が与那原バイパスで約56%、南風原バイパスで約38%減少
与那原バイパス【37,911台/日→16,635台/日】、南風原バイパス【20,533台/日→12,792台/日】
 - ⇒現道の渋滞損失時間が与那原バイパス並行区間で約57%、南風原バイパス並行区間で約25%削減
与那原バイパス【390.56万人時間/年→168.76万人時間/年】、南風原バイパス【434.96万人時間/年→326.76万人時間/年】
- 個性ある地域の形成
 - ⇒ホテル等が多数立地する那覇市～マリントウンまでの所要時間が約43%短縮 【36.8分→20.8分】
- 安全で安心できるくらしの確保
 - ⇒西原町(役場)～第三次救急医療施設である南部医療センターまでの所要時間が約53%短縮 【17.8分→8.4分】
- 地球環境の保全
 - ⇒CO2排出量の削減 与那原バイパス約9,058.6t-CO2/年削減、南風原バイパス約3,535.4t-CO2/年削減
与那原バイパス【186.2万t-CO2/年→185.3万t-CO2/年】、南風原バイパス【185.6万t-CO2/年→185.3万t-CO2/年】
- 費用便益(B/C) = 与那原バイパス2.9(事業全体)、6.4(残事業)、南風原バイパス1.3(事業全体)、1.9(残事業)

3. 事業の進捗と状況

- 用地進捗率
 - 与那原バイパス:約96%(H24再評価時90%)、南風原バイパス:約96%(H24再評価時89%)
- 事業進捗率
 - 与那原バイパス:約54%(H24再評価時48%)、南風原バイパス:約34%(H24再評価時27%)
- 与那原バイパス、南風原バイパスの全線開通に向けて鋭意事業の進捗を図る。

○対応方針(原案):

事業継続